

をスタートさせることで、いことを始める、ことの難しさを感じて、ニーズに応えたい」と思

うことを、広報の風景などを通じた技術者、技能者を育て、いる全企業や、企業を育てる教育訓練

の役割を果たすため、動きサイトや、広報

の風景などを通じた、力を入れて、いる企業や、企業を育てる教育訓練

した当初、「2年で、と言わざつとあ

るが汗をかいて、いるが

きたからだ。」といふ声

の開校式で披露した木

も心に残る。「会場に

がセンターに生命を吹

くられた。」當時の想

ことなく、センターは

建設業界の未

人材を育てる教育訓練

しての役割を果たすため

の開校式で披露した木

も心に残る。「会場に

が汗をかいて、いるが

きたからだ。」といふ声

の開校式で披露した木

も心に残る。「会場に

が汗をかいて、いるが

きたからだ。」といふ声

の開校式で披露した木

も心に残る。「会場に

が汗をかいて、いるが

旧関東財務局耐震補強等工事が完成

「横浜」の新たな賑わいを創出

横浜市中区の日本大通りに面して立地する横浜市の指定有形文化財「旧関東財務局」の耐震補強等工事が完成した。同工事は、横浜市が同施設を文化芸術活動や経済の活性化につなげる核施設として活用するため耐震対策事業として整備を進めていたもの。市は新施設を管理・運営する活用事業者として2014年度に横浜ベイスターズを公募で選定しており、同社が掲げる「スポーツ×クリエイティブ」をテーマに今後、横浜の歴史上重要な位置にあるこの施設が、新たな横浜の賑わいを創出する。

完成にあたって



株式会社小俣組 代表取締役社長 小俣 務

このたび、横浜市より御下取りました「旧関東財務局耐震補強等工事」が無事竣工の運びとなりました。施工を担当しました私どもにとりましても誠に喜ばしく、心よりお祝い申し上げます。

旧関東財務局横浜財務事務所は1928年に創建された歴史的建造物であり横浜市の指定有形文化財でもありますので、既存建物の解体作業には特に配慮致しました。また、土地柄、周辺の人通りが多いこともあり、より一層細心の注意を払い、細密な工程管理と徹底した安全対策のもと、施工にあたりました。

今後、横浜市の益々の発展に役立つ施設になりますこと、末永く活用される施設になりますことを心より祈念いたします。

最後となりましたが、工事関係者、近隣の皆様には、建設にあたり多大なご協力を賜りましたことに心からお礼申し上げご挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ



横浜市長 林 文子

旧関東財務局横浜財務事務所は、昭和3年に日本綿花株式会社横浜支店として創建されたもので、横浜の昭和初期のオフィスビルの特徴を表す印象的な外観が多くの方に親しまれ、平成25年には横浜市指定有形文化財として登録されています。

耐震補強工事にあたっては、歴史的価値を守りながら安全性を高めるため、様々な配慮を行いました。外壁改修では、外観の特徴であるコーニスやスカラチタイルを残し、落下防止対策を行いました。内部改修では、工事中に新たに確認された創建当時のレガ壁を補強し、建具や仕上げを極力当時の状態で保存しました。隣接する中区役所別館と共に中庭は仕上げを一新し、中庭屋根も当時の構造体を残しながら創建当時と同じガラス材で葺き替えました。

工事にあたりご理解とご協力をいただきました皆様に、改めて深く感謝いたします。新たに創造産業と賑わいの拠点に生まれ変わることの建物が、多くの市民の皆様に親しまれ永く活用されていくことを願っています。



工事MEMO

■工事件名：旧関東財務局耐震補強等工事 ■工事場所：横浜市中区日本大通34番地
■発注者：横浜市文化観光局 文化芸術創造都市推進部創造都市推進課
■建物概要：●横造・建物・鉄筋コンクリート造4階建て(1928年2月竣工) 中庭屋根:鉄骨造
●用法:一斤舎兼設、敷地面積=1505.07m²、建築面積=641.08m²、延床面積=2223.70m²
■工事概要：●耐震補強工事・鉄骨フレーム補強、RC壁補強、構造スリット
●建物内外装工事、外構整備工事
■工期：2015年2月12日～2017年1月31日

設計・監理



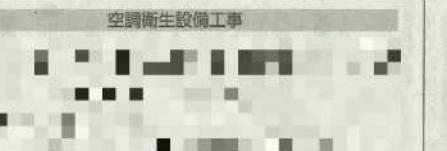
建築工事



電気設備工事



空調衛生設備工事



工事協力会社

防水工事
とび土工事
屋根工事
床工事
内装工事
雨漏れ修理工事
鉄骨工事
型枠工事
コンクリート压送工事
外壁補強工事
株 永 和 工 業 横濱市青峰1-19-3
TEL (046) 815-6886
地下防止金網工事
金属機具工事(AW-SD)
金属機具工事(LSD-シャッター)
石工事
タイル工事

組子トップライト工事

